

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

<太田川F 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
調査地点 F-1	○	○	○	○	○	○

<太田川F 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)		水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)
調査地点 F-1	37.5975°	140.9252°	R1.6.6	09:10	09:20	20.8	21.6	細砂	2.5Y4/2	なし	0.45	>50

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
調査地点 F-1	37.5975°	140.9252°	R1.6.6	09:10	7.7	0.8	3.5	9.3	7.1	0.04	1.1	1	1.2	0.019	0.24	0.0047

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
調査地点 F-1	37.5975°	140.9252°	R1.6.6	09:20	7.1	242	27.3	2.0	4.2	2.639	5.0	29.4	44.9	10.3	4.9	5.5	0.60	4.8	220	2800	0.76

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<太田川F 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137			
F-1	太田川本流	37.6020°	140.9358°	R1.6.6	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物（藻類を含む）	—	0.0077	—	—	—	318	28	290	—		
					藻類・植物	—	—	—	Bryophyta	コケ植物	—	0.28	—	—	—	—	258	18	240	—	
					藻類・植物	接合藻	ホシトノ	ホシトノ	Spirogyra sp.	アオミドロ属	—	0.33	—	—	—	—	—	13.0	1.0	12	—
					節足動物	昆虫	カゲロウ	チラカゲロウ	Isonychia valida	チラカゲロウ	245	0.019	幼虫	—	—	—	—	172	12	160	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガトビケラ	Stenopsyche marmorata	ヒゲナガカワトビケラ	74	0.017	幼虫	—	—	—	—	243	23	220	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エゾトンボ	Macromia amphigena amphigena	コヤマトンボ	31	0.0096	幼虫（ヤゴ）	—	—	118.9	8.9	110	—		
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	Anotogaster sieboldii	オニヤンマ											
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	Melligomphus viridicostus	オナガサナエ											
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	Davidius sp.	ダビドサナエ属											
					節足動物	昆虫	トンボ	サエトノボ	Asiagomphus melaenops	ヤマサナエ											
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	Boyeria maclachlani	コシボソヤンマ											
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Protohermes grandis	ヘビトンボ	64	0.026	幼虫	—	—	103.3	9.3	94	—		
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	Parachauliodes japonicus	ヤマトクロスジヘビトンボ	44	0.083	成体	—	—	244	14	230	—		
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	Palaemon paucidens	スジエビ											
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	Paratya improvisa	ヌカエビ	162	0.034	未成体	—	—	333	23	310	—		
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	Eriocheir japonica	モクスガニ	11	0.14	未成体	—	—	311	21	290	—		
					軟体動物	腹足	盤足目	カワナ	Semisulcospira libertina	カワナ	30	0.030	成体	—	軟体部	207	17	190	—		
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	Anguilla japonica	ニホンウナギ	4	0.78	未成魚/成魚	アメリカザリガニ、コイムシ、スカエビ、サエトノボ科、タニカガゲロウ属、マガラカゲロウ科	内臓除去	215	15	200	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Tribolodon hakonensis	ウグイ	8	0.063	未成魚	—	—	396	26	370	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Opsariichthys platypus	オイカワ	9	0.011	未成魚	—	—	233	13	220	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Candidia temminckii	カワムツ	8	0.026	未成魚/成魚	—	—	172	12	160	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	1	0.031	成魚	不明消化物	内臓除去	310	20	290	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Cyprinus carpio	コイ	1	3.5	成魚	不明消化物	内臓除去	473	33	440	4.4		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	Cobitis biwae	シマドジョウ	3	0.0046	成魚	—	—	191	21	170	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	Lefua echigonia	ホトケドジョウ	5	0.0055	未成魚	—	—	92.3	8.3	84	—		
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Rhinogobius fluviatilis	オオヨシノボリ	13	0.065	成魚	—	—	387	27	360	—		
脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	Rhinogobius nagoyae	シマヨシノボリ																
脊椎動物	頭甲	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	Lethenteron reissneri	スナヤツメ	2	0.0050	アンモニアス幼生	—	—	19	N.D. (6.5)	19	—							
粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.25	—	—	—	91.6	7.6	84	—							
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	R1.6.3	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	Anguilla japonica	ニホンウナギ	2	0.012	未成魚	—	—	46.4	4.4	42	—		
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	Carassius auratus	ギンブナ	1	0.016	未成魚	—	—	39.5	2.5	37	—		
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	775	0.23	幼生 (オタマシヤクシ)	—	—	152	12	140	—		
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカカエル	Lithobates catesbeianus	ウシガエル	14	0.49	幼生 (オタマシヤクシ)	—	—	194	14	180	—		
					脊椎動物	両生	無尾	アメリカカカエル	Lithobates catesbeianus	ウシガエル	7	2.7	成体	—	—	32.7	1.7	31	1.5		

- ※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- ※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- ※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。